

エコアクション21 環境活動レポート

平成28年度試行運用版

(平成28年9月1日～平成28年11月30日)



平成29年1月18日発行

 株式会社 三友金属












〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石45-2

TEL:092-937-7700 FAX:092-937-7701

URL: www.sanyukinzoku.co.jp

mail: metal@sanyukinzoku.co.jp

目次

 取組の対象組織・活動	・・・1
 環境方針	・・・2
 EA21実施体制	・・・3
 環境目標	・・・4
 環境活動計画	・・・5
 キックオフ宣言	・・・6
 環境活動のその他の取組み	・・・7
 環境目標の実績	・・・9
 環境活動計画の取組結果とその評価	・・・10
 環境上の緊急事態の試行及び訓練結果	・・・17
 環境関連法規等の遵守結果	・・・18
 代表者による全体評価と見直しの結果	・・・18

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名 株式会社 三友金属 代表取締役 遠山 貴広
- (2) 所在地
本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石45-2
緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石41-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 総務部 古賀 裕子 TEL:092-937-7700 FAX:092-937-7701
担当者 製造部 井浦美奈子 Mail: metal@sanyukinzoku.co.jp
- (4) 事業内容
・建築資材用スチール、ステンレス、アルミ製品の設計、製作及び販売
・建築工事 ・屋根工事 ・鋼構造物工事 ・板金工事 ・内装仕上工事 ・建具工事
・サイン工事（看板サイン設計・施工）
・電気工事
・造園工事
- (5) 事業の規模
売上げ額 平成27年度 6億円

区分	本社	工場	緑栄（造園事業部）	合計
従業員	17名	13名	2名	32名
延べ床面積	77㎡	865㎡	66㎡	1008㎡

2. 認証・登録の対象組織・活動

- (1) 対象組織：
株式会社 三友金属
本社・工場 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石45-2
緑栄（造園事業部） 〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町旅石41-1
- (2) 対象活動：
・建築資材用スチール、ステンレス、アルミ製品の設計、製作及び販売
・建築工事 ・屋根工事 ・鋼構造物工事 ・板金工事 ・内装仕上工事 ・建具工事
・サイン工事（看板サイン設計・施工）
・電気工事
・造園工事
- (3) 対象外組織・活動：
なし（全組織、全活動を対象とする）

環境方針

基本理念

株式会社 三友金属は、すべての事業活動、製品から生じる環境への影響を的確に捉え地球環境との調和・共生を目指します。

また、地球温暖化問題は、次世代にも及ぶ長期的で人類共通の問題であることを十分に認識し、社員一同で未来につながる地球環境づくりに取り組みます。

行動指針

当社では環境経営システムを構築し、特に以下の事項について重点的に取り組みます。

1. 省エネ及び省資源に努め、二酸化炭素排出量を削減します。
2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルに努めます。
3. 節水に努め、水資源の保全に努めます。
4. グリーン購入に努めます。
5. 化学物質を適正に使用・管理します。
6. 環境に配慮した製造、施工に努めます。
7. 当社に適用される環境に関する法規制等を遵守します。
8. 環境への取組は、毎年環境活動レポートにとりまとめ、広く外部にも公表します。

平成28年7月29日

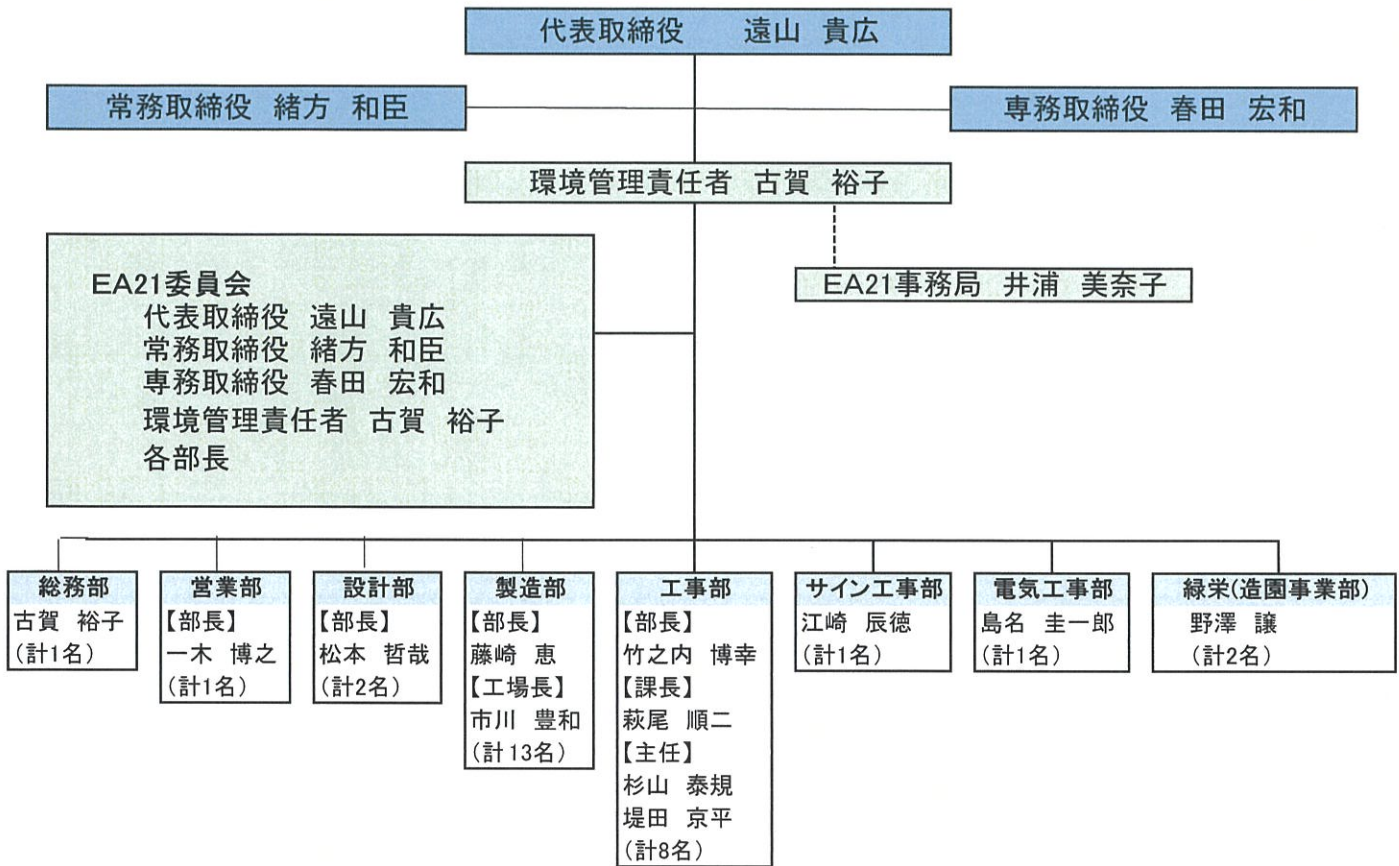


株式会社 三友金属

代表取締役 遠山 貴広



EA21実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する責任と権限を持つ。 環境管理責任者を任命する。 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。 環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認する。 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理をする。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認する。 毎年環境目標・環境活動計画書を作成する。 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。 環境活動レポートの確認をする。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口として情報の収集と伝達を行う。
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回開催し、取組状況を確認するとともに、3か月に1回は評価を行い問題点があれば、必要な是正処理の検討を行う。
各部部長及び責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針、環境目標、環境活動計画の実施状況を確認する。 建設工事における環境活動を推進する。 自部門に関連する法規制等を遵守する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

環境目標

- ・環境目標は6項目を設定しました。
- ・環境目標は、27年度を基準年とし、単年度目標、中長期目標を設定しています。
- ・各目標に対してはサイト区分を(事務所・工場)、(建設現場)と分けて設定しました。

環境目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標			中長期目標			
			平成27年度	平成28年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
			実績値	目標値	試行運用期間	目標値				
			平成27年3月 ～ 平成28年2月	平成28年3月 ～ 平成29年2月	平成28年9月 ～ 平成28年11月	平成29年3月 ～ 平成30年2月	平成30年3月 ～ 平成31年2月	平成31年3月 ～ 平成32年2月	平成32年3月 ～ 平成33年2月	
二酸化炭素排出量の削減	事務所・工場	kg-CO ₂	49,661	49,160 (△1%)	9,025	48,670 (△2%)	48,170 (△3%)	47,670 (△4%)	47,180 (△5%)	
	建設現場	kg-CO ₂	62,026	61,410 (△1%)	14,870	60,790 (△2%)	60,170 (△3%)	59,550 (△4%)	58,920 (△5%)	
	全社合計	kg-CO ₂	111,687	110,570	23,895	109,460	108,340	107,220	106,100	
1	(1)軽油使用量の削減	事務所・工場	L	1,116	1,100 (△1%)	364	1,090 (△2%)	1,080 (△3%)	1,070 (△4%)	1,060 (△5%)
		建設現場	L	23,635	23,390 (△1%)	5,860	23,160 (△2%)	22,920 (△3%)	22,690 (△4%)	22,450 (△5%)
	(2)ガンリン使用量の削減	事務所・工場	L	10,266	10,160 (△1%)	1,963	10,060 (△2%)	9,950 (△3%)	9,860 (△4%)	9,750 (△5%)
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	61,429	60,810 (△1%)	15,756	60,200 (△2%)	59,580 (△3%)	58,970 (△4%)	58,350 (△5%)
廃棄物排出量の削減										
2	(1)一般廃棄物排出量の削減(その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	現状把握	現状把握	平成28年度の実績から目標を決定する			
	(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	事務所・工場 + 建設現場	%	84	85	85	85	85	85	85
3	水使用量の削減	事務所・工場	m ³	300	297 (△1%)	81	294 (△2%)	291 (△3%)	288 (△4%)	285 (△5%)
4	グリーン購入の推進(購入金額の割合)	事務所・工場	%	不明	現状把握	現状把握	平成28年度の実績から目標を決定する			
5	化学物質の適正使用・適正管理	事務所・工場	kg	288	適正使用・適正管理に努めます					
6	環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	175	177	45	181	180	182	184

備考)

- ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、(株)F-POWERの平成27年度調整後排出係数(0.358kg-CO₂/kWh)を用いた。
- ・()は基準年に対する削減率を示す。
- ・試行運用期間の目標は前年同月の月の値の1%減を示す。

環境活動計画

・環境目標を達成するために、具体的な取組を定めた環境活動計画は以下のとおりです。

1. 二酸化炭素排出量の削減（1%削減）

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) 軽油使用量の1%削減	事務所・工場	1 急発進・急加速を行わない。（フォークリフト）
		1 アイドリングストップ手順を決め、実行する。
	建設現場	2 急発進・急加速を行わない。 3 タイヤの空気圧を定期的に確認する。
(2) ガソリン使用量の1%削減	事務所・工場	1 アイドリングストップ手順を決め、実行する。
		2 急発進・急加速を行わない。
		3 タイヤの空気圧を定期的に確認する。
(3) 電気使用量の1%削減	事務所	1 室内温度計を設置し、冷房時25～28度、暖房時24～26度を目安にエアコン設定温度を調節する。
		2 帰社時は、パソコンは主電源を切り、プリンターは省エネモードにする。
		3 休憩室やトイレなどの電気を使用時のみ点灯する。
	工場	1 機械を使用していない時は主電源を切る。

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) 一般廃棄物排出量の削減（その他可燃ごみ）	事務所・工場	1 印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量になるように考慮し、残部がでないように配慮する。
		2 封筒やダンボールは資源ゴミ置き場、資源原価率を向上させ排出時には、重量を計測する。
		3 両面印刷や裏紙利用で紙使用量を削減し、排出時には分別排出を行い、ペーパーリサイクル率を高める。
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上（リサイクル率85%）	工場 建設現場	1 現場での産業廃棄物分別作業を協力会社を含めて徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。
		2 収集時での分別の確認と報告を徹底する。

3. 水使用量の削減（1%削減）

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) 水使用量の1%削減	事務所・工場	1 水の使用場所には節水シールを貼り、節水に心がける。
		2 ホースの先にストッパーを取り付け、社用車の洗車の際は、水を必要最小限に使用する。

4. グリーン購入の推進

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) グリーン購入の推進	事務所	1 エコ商品の対象商品を調査し、エコ商品への切り替え。
		2 エコ商品の購入金額を記録。

5. 化学物質の適正使用量・適正管理

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) 化学物質の適正使用・適正管理に努める	工場	1 化学物質の適正使用・適正管理のため、購入量を記録する。
		2 使用者に対してSDSの使用上の注意を厳守させる。

6. 環境に配慮した自社製品の販売・拡大

取組目標	サイト区分	活動項目
(1) 環境に配慮した自社製品の販売・拡大	事務所・工場	1 ホームページの商品紹介を拡充させる。
		2 営業先を開拓していく。

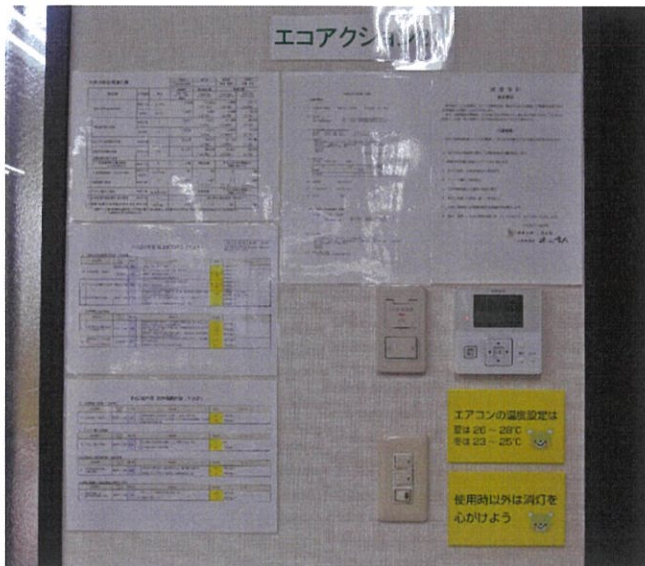
環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について

・エコアクション21の試行運用開始時には、代表者がキックオフ宣言を行い、社員全員が一丸となって、頑張っていくことを確認し、取組をスタートしました。また、環境管理責任者よりエコアクションの取り組み方やこれからの思いを伝えました。



平成28年9月1日
～緑栄にて、その後バーベキュー～

・事務所と休憩室に環境方針などを掲載。



事務所



休憩室

環境活動のその他の取組み

太陽光パネルの設置

平成25年11月に工場の広大な屋根を生かして、209枚の太陽光パネルを設置しました。
これにより、年間約53000円2044000kWhの発電になっています。

太陽光は無限のエネルギーであり、設置する事だけで発電できる事やCO2や有害物質を一切排出しない事です。



太陽光設備の概要

連系する電力系統: 高圧一般配電線(三相3線、6.6kV、60Hz)

発電設備の種類: 太陽電池発電所

太陽電池容量: 52.25kW

パワーコンディショナ容量: 45kW(10kW×4台、5kW×1台)

(モジュール板 209枚 H1650 W992)

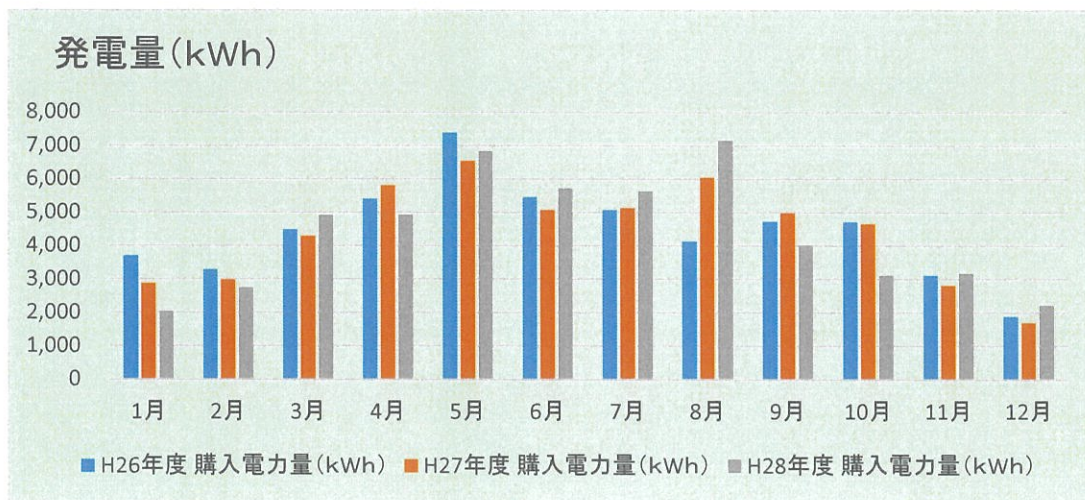
1枚辺り250W出力

逆潮流の有無: 逆潮流有り

設置年月日: 平成25年11月15日

太陽光発電量及び売電料金(平成26年1月～平成28年12月)

	H26年		H27年		H28年	
	発電量(kWh)	売電料金(千円)	発電量(kWh)	売電料金(千円)	発電量(kWh)	売電料金(千円)
1月	3,690	139.5	2,864	111.4	2,013	78.3
2月	3,269	123.6	2,974	115.6	2,724	105.9
3月	4,477	169.2	4,283	166.5	4,894	190.3
4月	5,390	203.7	5,792	225.2	4,907	190.8
5月	7,367	286.4	6,529	253.8	6,816	265.0
6月	5,438	211.4	5,055	196.5	5,702	221.7
7月	5,057	196.6	5,113	198.8	5,612	218.2
8月	4,114	160.0	6,030	234.4	7,131	277.3
9月	4,714	183.3	4,969	193.2	4,001	155.6
10月	4,706	183.0	4,648	180.7	3,099	120.5
11月	3,099	120.5	2,803	109.0	3,159	122.8
12月	1,872	72.8	1,688	65.6	2,198	85.5
合計	53,193	2,050	52,748	2,051	52,256	2,032



環境目標の実績

- ・試行運用期間における環境目標の達成状況は、以下の通りです。
- ・設定した6つの環境目標の中で、二酸化炭素の排出量削減は達成できませんでした。
- ・目標未達成の主な原因としては、昨年度に比べ9月・10月の現場の多さにより、社用車の軽油の使用量が増えたものと考えられ、今後については現場が増えた時は、最短移動距離を調べ、社用車の乗り方についても工夫をして取り組みたいです。

環境目標	サイト区分	単位	基準年	平成28年度試行運用期間 (H28.9~11)		目標 達成率	目標 達成判定	
			平成27年度 (H27.3~H28.2) 実績値	目標値	実績値			
二酸化炭素排出量 の削減	事務所・工場	kg-CO ₂	49,661	9,025	8,901	101%	○	
	建設現場	kg-CO ₂	62,026	14,870	19,853	75%	○	
	全社合計	kg-CO ₂	111,687	23,895	28,754	83%	△	
1	(1)軽油使用量の削減	事務所・工場	L	1,116	364	170	214%	○
		建設現場	L	23,635	5,860	7,565	77%	×
	(2)ガソリン使用量の削減	事務所・工場	L	10,266	1,963	1,085	181%	○
	(3)電気使用量の削減	事務所・工場	kWh	61,429	15,756	16,580	95%	○
廃棄物排出量の削減								
2	(1)一般廃棄物排出量の削減 (その他可燃ごみ)	事務所・工場	kg	不明	現状把握	0.52	-	○
	(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	事務所・工場 + 建設現場	% (リサイクル率)	84	85	99.9	-	-
3	水使用量の削減	事務所・工場	m ³	300	81	76	108%	○
4	グリーン購入の推進	事務所・工場	% (購入金額の割合)	不明	現状把握	41	-	○
5	化学物質の 適正使用・適正管理	事務所・工場	kg	288	化学物質の 適正使用量・適正 管理に努めます	97	-	○
6	環境に配慮した 自社製品の販売・拡大	事務所・工場	件 (受注件数)	175	45	59	131%	○

備考) ・二酸化炭素排出量計算における購入電力の排出係数は、㈱F-POWERの平成27年度調整後排出係数 (0.358kg-CO₂/kWh)を用いた。

- ・()は基準年に対する削減率を示す。
- ・目標達成率の算定方法に削減目標の場合、目標値/実績値×100で計算する。
増加目標の場合、実績値/目標値×100で計算する。
- ・目標達成判定の区分定義 : ○・・・目標達成率≥90%
△・・・90>目標達成率≥80
×・・・目標達成率<80

環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について①

1.二酸化炭素排出量の削減(軽油・ガソリン・電気)

二酸化炭素排出量削減の実績

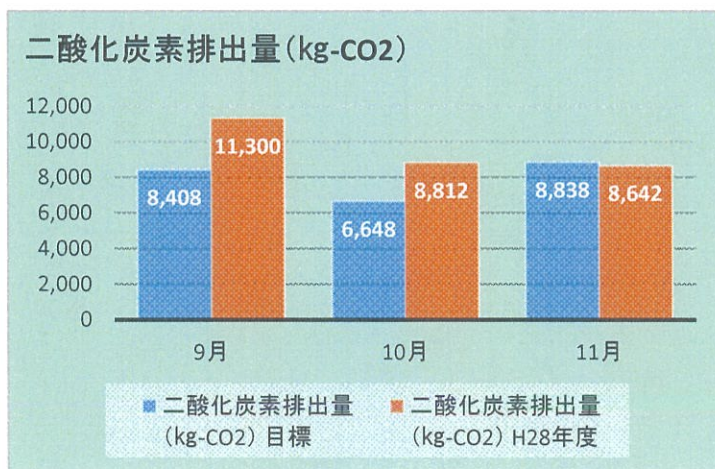
単位:(kg-CO2)

		9月	10月	11月	計
軽油	事務所・工場(H27年)	188	383	383	954
	事務所・工場(H28年)	121	165	160	446
	建設現場(H27年)	4,860	4,070	6,090	15,020
	建設現場(H28年)	8,409	6,041	5,403	19,853
ガソリン	事務所・工場(H27年)	1,947	304	268	2,519
	事務所・工場(H28年)	724	957	838	2,519
電気	事務所・工場(H27年)	1,496	1,958	2,187	5,641
	事務所・工場(H28年)	2,046	1,649	2,241	5,936

二酸化炭素(kg-CO2)の割合



	二酸化炭素排出量 (kg-CO2)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	8,408	11,300	○
10月	6,648	8,812	○
11月	8,838	8,642	○
合計	23,894	28,754	
目標達成率	83%		



※目標はH27年度の9月～11月の実績に1%減で設定しています。



(1) 軽油使用量の削減(全社)

- ・アイドリングストップ手順を決め、実行する。
- ・急発進・急加速を行わない。
- ・タイヤの空気圧を定期的にチェックする。

	使用量(L)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	1,968	3,250	○
10月	1,734	2,365	○
11月	2,522	2,120	○
合計	6,224	7,735	
目標達成率	80%		

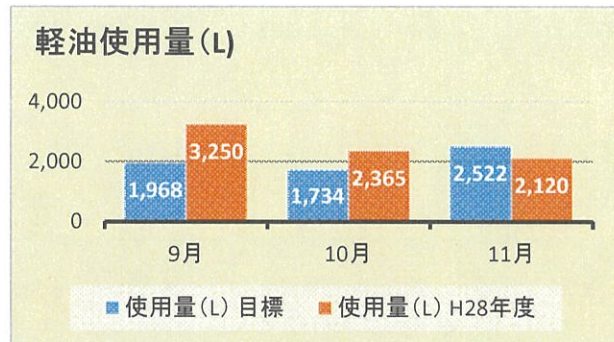


取組の結果・・・9月は現場が多く、移動でかなりの軽油を使用しました。

10月は、H27年とあまり変わらず

11月は繁忙期にもかかわらず、軽油の使用量は抑えられたと思います。

今後の取組・・・現場が多い時も、極力最短距離で行けるよう、または相乗りして行くなど工夫を努めていきたいと思っています。



(2) ガソリン使用量の削減(事務所・工場)

- ・アイドリングストップ手順を決め、実行する。
- ・急発進・急加速を行わない。
- ・タイヤの空気圧を定期的にチェックする。

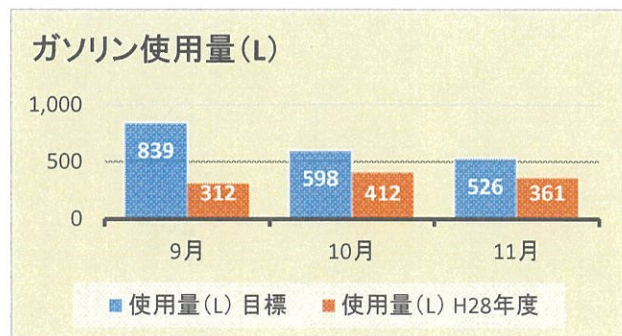
	使用量(L)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	839	312	○
10月	598	412	○
11月	526	361	○
合計	1,963	1,085	
目標達成率	181%		



取組の結果・・・ガソリンの使用量は理想的に削減できたかと思っています。

営業車などの車両がエコ対象者であるのも、削減できた理由の一つです。

今後の取組・・・引き続き取組を実施し、目標達成できるように努めます。



実施状況の判定 ○:実行されている △:一部実行されている ×:実行されていない —:判定できない、該当しない

環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について②

～軽油・ガソリン使用量のこれまでの取組～

①エコドライブを徹底して、車両の自主点検、給油時のタイヤの空気圧点検を義務化した。
(車輛管理表を作成し記載、会議での呼びかけなど。)

②営業車の買い替え時にはハイブリッドカーを購入する。

③自転車の活用

④EVPHEVの導入。



④ EVPHEVの導入



②ハイブリッドカー購入



①車輛管理表の作成



③自転車の活用

(3) 電気使用量の削減(事務所・工場)

- ・エアコンの設定温度の厳守
- ・帰社時はパソコンの主電源OFF, プリンターは省エネモードに
- ・休憩室やトイレの電気は使用時のみ点灯

	使用量(kWh)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	4,180	5,715	○
10月	5,468	4,606	○
11月	6,108	6,259	○
合計	15,756	16,580	
目標達成率	95%		



取組の結果・・・省電に取組むため各所にステッカーを提示し呼びかけましたが、なかなか浸透しなかった事と、11月は繁忙期に入り同時に電気の使用量も上がったために、数字として結果ができませんでした。

今後の取組・・・今後も取組を継続し、結果が数字として表れるように、社員の意識がかえられるよう、結果も掲示していこうと思います。



～電気使用量削減のこれまでの取組～

①事務所・休憩室・トイレのスイッチ付近に節電ステッカー掲示

②事務所・工場の電気をLEDに交換



②



①節電のステッカーの掲示

環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について③

2.廃棄物排出量の削減(一般廃棄物・産廃廃棄物)

(1)一般廃棄物排出量の削減

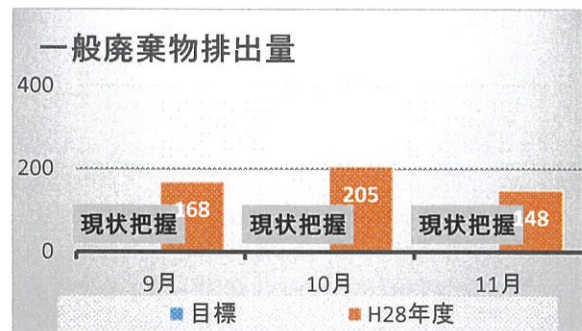
- ・印刷物の作成は必要最小限に、残部がでないようにする
- ・封筒や段ボールは資源ごみ置き場へ、資源原価率を向上させ、排出量を計測
- ・両面印刷や裏紙使用で紙使用量を削減

	排出量(kg)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	現状把握	168	○
10月	現状把握	205	○
11月	現状把握	148	○
合計	現状把握	521	



H27年度は排出量不明の為、H28年度は現状把握。

取組の結果・・・H27年は排出量を計測しておらず不明のためH28年は現状把握。
 ただ、処理代金を見る限り、9月は超えています、少しずつ減少している。今後に期待。
 今後の取組・・・ゴミの量を1袋枚に計測しながら、継続して取組む。



～一般廃棄物排出量削減の実際の取組～

- ①コピー用紙の裏紙使用の徹底。
- ②紙類の回収率を高めるためシュレッダーや不要紙として収集し、回収業者に委託する。
- ③資源の再利用。
(ダンボール・紙はリサイクル。
ペットボトル・カンは業者が回収。)



シュレッダー・不要紙の収集

③



資源の再利用

④可燃物は一つずつ計測し、記載する。



環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について④

2.廃棄物排出量の削減(一般廃棄物・産廃廃棄物)

(2)産業廃棄のリサイクル率向上

- ・現場での産業廃棄物分別を徹底し、混合廃棄物ゼロを目指す。
- ・収集時での分別の確認と報告する。

	実績(t)		リサイクル率(%)	
	目標	H28年度	目標	H28年度
9月	現状把握	2.81	現状把握	99.91%
10月	現状把握	0.67	現状把握	
11月	現状把握	0.72	現状把握	
合計	現状把握	4.20	現状把握	

H27年度は排出量不明の為、H28年度は現状把握。

取組の結果・・・産業廃棄物の分別がなかなかできていませんが、担当の責任者が呼びかけたり、話し合いを設けて改善しようと努めました。

今後の取組・・・細かく分別できるよう掲示などのお知らせと呼びかけを努めます。

～産業廃棄物のリサイクル率向上のこれまでの取組～



電動工具・工具・サンダーの刃・スプレー缶にそれぞれの土のう袋に分別



鉄・ステンレス・アルミのBOXにそれぞれ分別



紙くず・廃プラ(燃える物)



金属・廃プラ(分けられない物)

環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について⑤

3.上下水道の使用量削減

- ・節水のステッカー掲示・呼びかけ
- ・ホースの先にストッパーを取付、社用車の洗車は必要最低限に



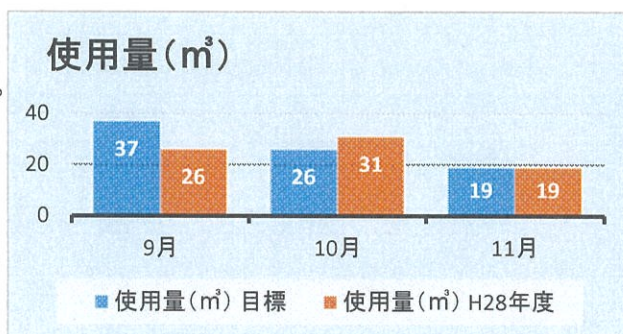
	使用量(m ³)		取組の達成状況
	目標	H28年度	
9月	37	26	○
10月	26	31	○
11月	19	19	○
合計	82	76	
目標達成率	108%		



取組の結果・・・9月は社員一同、節水に試み結果が出ていますが

10月は前年度を超える結果となりました。

今後の取組・・・再度、気を引き締めて取組たいと思います。



～上下水道使用量削減のこれまでの取組～

①節水のステッカーの掲示と担当からの呼びかけ。

②洗車時などホースにストッパーをつけ、節水を心がけた。



①節水ステッカーの掲示



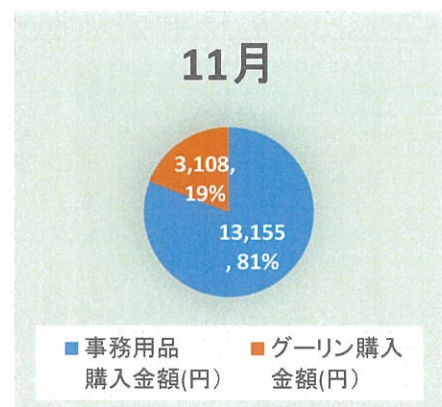
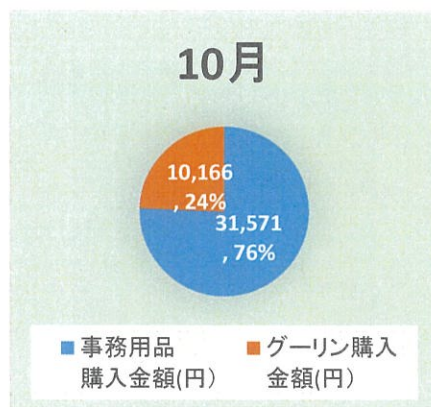
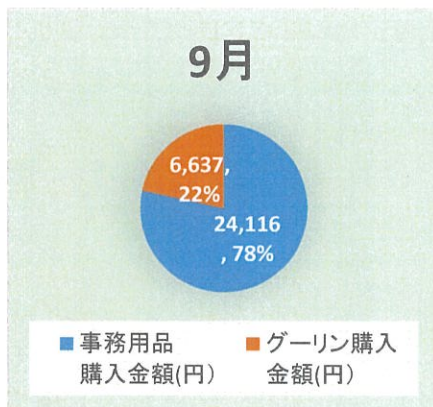
②ホースにストッパーの取付

環境活動計画の取組結果とその評価、今後の取組について⑥

4.グリーン購入の推進

- ・エコ商品に切り替え
- ・エコ商品の購入金額の把握

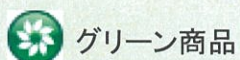
	グリーン購入 金額(円)	%	取組の 達成状況
9月	8,016	33	○
10月	10,166	32	○
11月	7,687	58	○
合計	25,869	(平均) 41	



取組の結果・・・H27年はグリーン購入適合商品など気にせず、購入していたのがH28年9月からは対象商品を確認してから購入するようにしました。特に、頻度の高いコピー用紙、ファイル類などを変更したことによりグリーン購入率がUPしたと思います。



今後の取組・・・エコ商品に切り替えられるものは、切り替え、物資購入時には最低限にし、簡易パックなど、エコに対応した商品の購入を行っていく。



グリーン商品



グリーン購入法

※マークのついている物を重視して購入しています。

環境上の緊急事態の試行及び訓練結果

環境上の緊急事態として、工場火災を想定し、消防署の指導の下で以下の避難訓練を行いました。

1. 粉末消火器設置場所、有効期限の確認。
2. 消防署119番への通報、消火器での初期消火、避難後の人員確認。



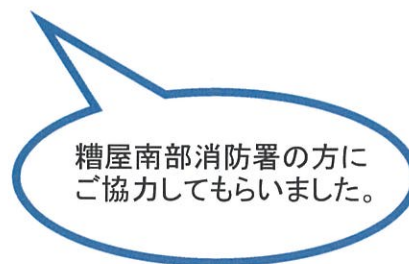
消火器の取り扱いの説明



消火器での消火の指導

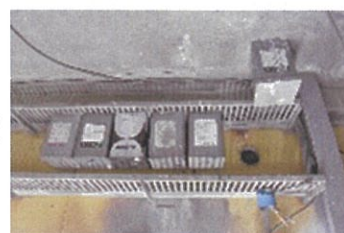


今回の訓練の感想と今後の取組



～対応策の有効性の確認結果、改訂及び周知の内容～

- ・ガス置き場の表示及び転倒防止のチェーンの取付け →
- ・ガス・塗料缶の保管量の是正 → 保管量を1/5にした。
- ・消防用設備の定期的点検 → 点検記録表を作成。
- ・中2階に発信器、ベルを増設、その下の階に感知器を増設 → 増設予定



※全てが終了後、社員全員に周知します。

環境関連法規等の遵守結果

- ・試行運用期間中における事業活動で遵守すべき法令は以下のとおりです。
- ・また外部からの苦情や法令違反の指摘もありませんでした。
- ・遵守確認の結果、法令違反はありませんでした。


法令名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物(委託)	○
	産業廃棄物(排出責任者)	○
	産業廃棄物管理票の交付	○
	産業廃棄物管理票の写しの保存期間	○
	送付を受けた管理票の写し保管期間	○
フロン排出抑制法	簡易点検の实地	○
労働安全衛生法	健康診断の実施	○
地球温暖化対策推進法	事業者の責務	○
グリーン購入法	事業者及び国民の責務	○

備考) 遵守状況の判定 ○: 遵守 ×: 法令違反 —: 該当なし

代表者による全体評価と見直しの結果

- ・1年目の運用をスタートしましたが、試行した3カ月の結果をレポートに取りまとめました。
- ・試行期間の3カ月の結果をみると、少しずつではありますが、計画に基づいた取組ができています。
- ・またエコアクション21の取組によって、全社員の環境に対する意識の向上がみられ今後とも環境の保全に取組む企業として歩んでいきます。
- ・当社は地域経済の発展の現実に向け最善を尽くしてまいります。




株式会社 三友金属
 代表取締役 **遠山 貴広**